

はばたけ新成人 ～二十歳の決意～

1月4日(月)、日高町農村環境改善センターにおいて、令和3年日高町成人式が執り行われました。式典には、新成人100名のうち68名(男子41名、女子27名)が出席し、大人への第一歩を踏み出しました。

松本町長が式辞で「コロナ禍の中で、将来への不安もあるのかと思いますが、明るい未来を切り拓くのは、いつの時代も若者の柔軟で斬新な『発想』と『行動力』です。皆さんの未来には無限の可能性が広がっています。失敗を恐れず、高い志と情熱を持って、一度しかない人生を心豊かに歩んでください」と激励。来賓の方々からもたくさんのお祝いの言葉が贈られました。



佳治さんの合図で「門出」の花言葉があるスイートピーの種入りの風船を飛ばし、記念撮影をして新たな門出を祝いました。

(記念写真撮影は屋外で行い、一時的にマスクを外して会話はせずに撮影しました)



新成人を代表して、小笠原朝日香さんに記念品が贈呈されると、植松永綺さんが謝辞で「すでに働いている者や学業を継続している者もあり、それぞれ置かれた状況の違いはありますが、成人としての自覚を新たにし、大人社会の一員としてベストを尽くす所存です」と、新成人としての決意を述べました。

式典後、中央公民館前にて、重村



